



教育目標

- ・自ら進んで学び未来を創造する生徒
- ・豊かな心を持ち互いに協力して生活を高める生徒
- ・強い意志と体力を持ち、進んで努力する生徒

令和5年10月5日 第10号

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果

本調査は令和5年4月18日に、中学3年生を対象に実施されました（英語「話すこと」の調査については5月18日実施）。本校の結果について、分析とともにお知らせいたします。本調査は学力の特定の一部分を調査するものです。よってこれらの傾向・分析が本校全生徒に当てはまるとは限りませんのでご承知おきください。

国語 全国平均正答率に比べ、やや下回る結果となりました。

<成果の見られた問い>

③ 三
山田さんは、「■『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた文章を内容のまとまりで二つに分け、後半のまとまりには分けた内容と合う見出しを付けることにしました。分ける箇所として最も適切なものを、(ア)から(オ)までの中から一つ選びなさい。また、後半のまとまりに付ける見出しを考えて書きなさい。

情報の扱い方に関する事項

具体と抽象など情報と情報の関係について理解しているかどうかみる 問いについて成果が見られました。「意見と根拠、具体と抽象など情報と情報の関係について理解することができているか」を問われた内容でした。

<課題の見られた問い>

「おし量って考える」

③ 二
下線部のひらがなを漢字に直し、楷書でいねいに書きなさい。

言葉の特徴や使い方に関する事項

文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる 問いについて課題が見られました。「第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと」を問われた内容でした。

数学 全国平均正答率に比べ、下回る結果となりました。

<成果の見られた問い>

8 (3) 新緑大学が晴天大学に追いつくのが、6区のスタート地点からおよそ何mの地点になるのかを考えます。下のア、イのどちらかを選び、それをういておよそ何mの地点になるのかを求める方法を説明しなさい。ア、イのどちらを選んで説明してもかまいません。また、実際に何mかを求める必要はありません。

ア 晴天大学のグラフと新緑大学のグラフ

関数に関する事項

事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる 問いについて成果が見られました。「一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること」を問われた内容でした。

<課題の見られた問い>

6 (3) 計算結果が $3n + 4$ となることから、はじめの数としてどんな整数を入れても「はじめの数にかける数が2、たす数が4ならば、計算結果はいつでも4の倍数になる」という予想は成り立たないことがわかります。上の夏希さんの計算をもとに考えたとき、はじめの数にかける数がいくつ、たす数がいくつならば、計算結果はいつでも4の倍数になると予想できますか。「_____ならば、.....になる。」という形で書きなさい

数と式に関する事項

結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することができるかどうかをみる 問いについて課題が見られました。

「文字を用いた式を具体的な場面で活用すること」を問われた内容でした。

英語 全国平均正答率に比べ、下回る結果となりました。

<成果の見られた問い>

7 (1) 英文中の () に当てはまる語 (句) として最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 Like this
- 2 For example
- 3 Then
- 4 Second

読むことに関する事項

文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかをみる 問いについて成果が見られました。

「読むことにおける英語の特徴やきまりに関する事項 “符号” “語、連語及び慣用表現” “文、文構造及び文法事項” を問われた内容でした。

<課題の見られた問い>

9 (1) 次の①、②について、例を参考にしながら、必要があれば () 内の語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、それぞれ会話が成り立つように英文を完成させなさい。

① <先生と生徒の会話>

A : Do you have any plans for summer vacation?

B : Yes. I (visit) my uncle in London. I can't wait! A : Wow, that's nice.

書くことに関する事項

未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことができるかどうかをみる 問いについて課題が見られました。

「書くことにおける “英語の特徴やきまりに関する事項” “符号” “語、連語及び慣用表現” “文、文構造及び文法事項” を問われた内容でした。

生徒質問紙に関する調査結果

<成果の見られた問い>

- 「人が困っているときは、進んで助けていますか」で、肯定的な回答をする生徒が全国平均を上回りました。日常の学級などでの生活の中で、お互い協力し合って生活していると考えられます。
- ICT機器の使用頻度に関する設問では、全国平均を大幅に上回りました。普段の授業においてタブレットPCを活用している結果と考えられます。
- 「将来の夢や目標を持っていますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」で全国平均をやや上回りました。

<課題の見られた問い>

- 「家で自分で計画を立てて勉強していますか」で全国平均より下回りました。これから高校受験へ向けて本格的に家庭学習に取り組む中で、しっかりと計画を立てて入試に向かう姿勢を作ることが大切だと思われます。
- 「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」で全国平均より下回りました。一方で、学校生活における困り感や不安は、保護者の方にしっかりと相談できているとも考えられます。これからは家庭と学校との間で連携をとって進めていければと考えております。